

国際的な取り組み

『第3回世界水フォーラムでの議論』

平成15年3月に滋賀県等で開催されました第3回世界水フォーラムでは、川の自然再生に関する今後の国際的取り組み（ガイドライン）が示されました。

1) ガイドラインの発表

本ガイドラインは、流域という視点から川の自然再生、とりわけ生物を中心に河川生態系における生物多様性の保全と持続可能な管理を意図し作成するものであり、国情の違う各国にとって共通して持つべき知識や状況認識、そして課題などを理解し、ラムサール条約や生物多様性国家戦略の観点なども含め、国際的に川の自然再生の取り組みが進むことの重要性を認識するためのものです。



第3回世界水フォーラムでのガイドライン発表



第3回世界水フォーラムでのガイドラインの議論

このガイドラインの掲載や各国の自然再生事例など第3回世界水フォーラムに関する詳細な事項は、次の文献やホームページに掲載されています。

●参考文献

- ①国際シンポジウム 川の自然再生～第3回世界水フォーラムに向けて～ 講演録
(財)リバーフロント整備センター
- ②3回世界水フォーラム登録セッション 川の自然再生(Vol.2) 議事録
(財)リバーフロント整備センター

●ホームページ <http://www.rfc.or.jp>

2) 国際情報交流ネットワーク

第3回世界水フォーラムに先立ちマレーシアで開催された東アジア地域セミナーでは自然再生に関する情報センター（ARRC）の設置が提言され、また、フォーラムではヨーロッパ川の自然再生センター（ERRC）との連携やガイドラインに位置付けられるなど、各国の成功や失敗事例、技術的手法に関する知識や経験を相互に情報として交換することが重要であると提案されています。

情報交流ネットワークのイメージ案

